

大学等名	神戸市外国語大学	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	数理・データサイエンス・AI 教育プログラム(KCUFS-DASH)	申請年度	令和7年度

取組概要

目的 かつてない勢いで進むDXに対応できる人材が求められるなか、数理・データサイエンス・AIを適切に活用することは、外国語の運用に加え、国際社会で活躍する人材にとって当たり前求められるスキルとなりつつあります。これからの社会において不可欠な学問領域である、数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、適切に理解し、それを活用する基礎的な能力を育成することは、本学の理念である「行動する国際人」を養成するために不可欠な要素であると考え、数理・データサイエンス・AI教育プログラムを設置しました。

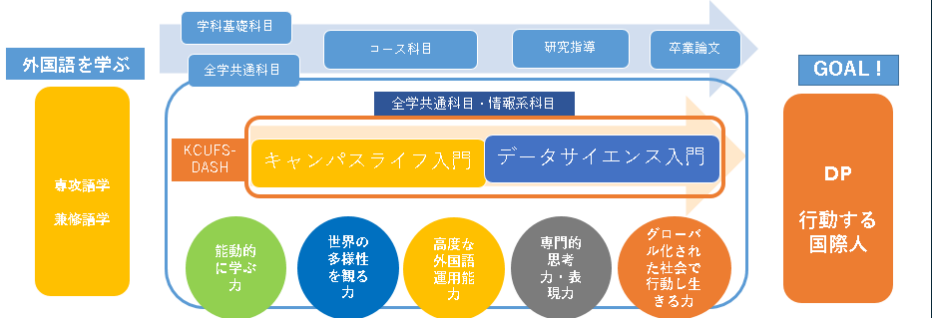
身につけられる能力

「キャンパスライフ入門」では、大学における学びを効果的に進めるために必要な様々な知識や技術、ものの見方や規範等のうち、初年次から不可欠になるもの、本学における学びの基礎的な資質を育ててゆきます。2024年度からは、特に情報科学分野の基礎を中心に学修し、「社会におけるデータ・AI利活用」「データ・AI利活用における留意事項」について学びます。「データサイエンス入門」では、社会で活用されているデータやその技術・最新動向について学ぶとともに「データリテラシー」を身につけます。また生成AIやプログラミング、自然言語処理の基礎を習得します。世界で活躍する人間にふさわしいリテラシーや倫理を備え、多様な背景を持つ人々と協働する力の修得を目指します。

科目構成と修了要件 下記2科目を履修し、2科目とも単位修得した場合、リテラシーレベルを修了するものとします。

前期：キャンパスライフ入門	後期：データサイエンス入門
2024(令和6)年度以降入学生の必修修科目 2023(令和5)年度以前入学生も履修可能	
オンデマンド実施・リレー講義	対面実施・複数クラス開講
大学における学びを効果的に進めるためには、様々な知識や技術、さらにはものの見方や規範等を新しく修得してゆくことが必要になります。そのうち初年次から不可欠になるもの、特に本年度から情報科学分野の基礎を中心に学修し、本学における学びの基礎的な資質を育ててゆきます。	現代社会では専門分野を問わず、データを処理するための統計学や人工知能、プログラミング等の知識や技術が求められています。この授業では講義と実習を通してこれらの基礎知識や技術を身につけることを目的とします。
【到達目標】 授業で扱われた本学での学びの基盤となる知識、技術、ものの見方や規範等を十分に理解し習得している。	【到達目標】 ・データサイエンスの基礎知識や技術に関して説明することができる。 ・データサイエンスに関する実用的な手法を活用することができる。

外国語＋数理・データサイエンス・AI＝国際社会で活躍する未来



特徴

「データサイエンス入門」ではデータサイエンス・アシスタント制度を導入。同一法人の神戸市立工業高等専門学校の本科4年生以上の学生に協力を得て、Excelやプログラミング、PC操作を授業内でサポートいただいています。本学LMSのQ&A機能だけでなく、対面でも質問しやすい環境を整えています。

実施体制

